

ヒト胚等の取り扱い方について

(藤本委員 説明資料)

平成11年度末の登録実施施設数

登録施設数	471
回答施設数	469
回答率	99.6%
実施施設数	423
実施しなかった施設数	46
非配偶者間人工授精実施施設数	24

(平成11年1月～12月)

体外受精・胚移植等治療周期数からみた施設数の分布

治療周期	新鮮胚 (卵)	顕微授精 (新鮮卵)	凍結 融解胚	凍結融解 未受精卵
1～50	252	113	163	6
51～100	83	42	21	0
101～150	31	29	13	0
150～200	24	10	3	0
201～250	6	10	1	0
251～300	7	4	2	0
301～350	6	4	1	0
351～400	3	3	3	0
401～500	4	0	1	0
501～600	2	4	1	0
601～700	2	0	0	0
701以上	2	4	1	0
合計	422	223	210	6

(平成11年1月～12月)

新鮮胚(卵)を用いた治療成績

	IVF-ET	GIFT	ZIFT	合計
患者総数	23,924	280	115	24,319
治療周期総数	35,671	286	128	36,085
採卵総回数	33,883	283	124	34,290
移植回数	27,066	273	116	27,455
妊娠数	6,680	102	30	6,812
移植当り妊娠率	24.7%	37.4%	25.9%	24.8%
妊娠当り流産率	22.1%	21.6%	13.3%	22.0%
多胎妊娠数	1,130	23	10	1,163
双胎	1,003	22	10	1,035
三胎	121	1	0	122
四胎	6	0	0	6
妊娠当り多胎妊娠率	16.9%	22.5%	33.3%	17.1%
出生児数	5,755	92	23	5,870

(平成11年1月～12月)

顕微授精法(新鮮卵)を用いた胚移植部位別治療成績

	子宮腔内移植			卵管内移植			合計
	射精精子	精巣上体精子	精巣精子	射精精子	精巣上体精子	精巣精子	
患者総数	14,336	346	825	324	11	7	15,849
治療周期総数	20,762	612	1,216	404	14	7	23,015
採卵総回数	20,141	603	1,196	389	14	7	22,350
移植回数	16,711	493	987	381	13	7	18,592
妊娠数	4,172	135	247	140	6	2	4,702
移植当り妊娠率	25.0%	27.4%	25.0%	36.7%	46.2%	28.6%	25.3%
妊娠当り流産率	21.5%	20.0%	17.0%	16.4%	16.7%	0.0%	21.1%
多胎妊娠数	694	23	44	18	0	0	779
双胎	632	22	40	18	0	0	712
三胎	60	1	4	0	0	0	65
四胎	1	0	0	0	0	0	1
五胎以上	1	0	0	0	0	0	1
妊娠当り多胎妊娠率	16.6%	17.0%	17.8%	12.9%	0.0%	0.0%	16.6%
出生児数	3,745	126	235	135	5	2	4,248

(平成11年1月～12月)

凍結融解胚を用いた治療成績

	IVF-ET	ZIFT	合計
患者総数	7,544	4	7,548
治療周期総数	9,915	4	9,919
移植回数	9,062	4	9,066
妊娠数	2,197	0	2,197
移植当り妊娠率	24.2%	0.0%	24.2%
妊娠当り流産率	24.3%		24.3%
多胎妊娠数	254	0	254
双胎	228	0	228
三胎	24	0	24
四胎	1	0	1
五胎以上	1	0	1
妊娠当り多胎妊娠率	11.6%		11.6%
出生児数	1,811	0	1,811

(平成11年1月～12月)

凍結融解未受精卵を用いた胚移植部位別治療成績

	顕微授精						
	子宮腔内移植			卵管内移植			
	射精精子	精巣上体精子	精巣精子	射精精子	精巣上体精子	精巣精子	
患者総数	22	1	3	0	0	0	26
治療周期総数	27	1	3	0	0	0	31
移植回数	24	1	2	0	0	0	27
妊娠数	0	0	1	0	0	0	1
妊娠当り流産率			0.0%				0.0%
多胎妊娠数	0	0	0	0	0	0	0
出生児数	0	0	1	0	0	0	1

(平成11年1月～12月)

非配偶者間人工授精の治療成績

総患者数	1,134
AID 周期総数	6,059
妊娠数	343
流産数	48
生産分娩数	199
出生児数	221

(平成11年1月~12月)

治療法別出生児数および累積出生児数

	治療 周期総数	出生児数	累積 出生児数
新鮮胚(卵)を用いた治療	36,085	5,870	37,969
凍結胚(卵)を用いた治療*	9,950 (31)	1,812 (1)	5,305 (14)
顕微授精を用いた治療	23,015 (31)	4,248 (1)	16,260 (14)
合 計	69,019	11,929	59,520

()内は重複症例数、合計は重複症例数を減じてある

(平成11年12月末現在)

ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する見解 (1985 年会告の改定案)

1. 研究の許容範囲

精子・卵子・受精卵は生殖医学発展のための基礎的研究ならびに不妊症の診断治療の進歩に貢献する目的のための研究に限って取り扱うことができる。

なお、受精卵はヒト胚性幹細胞(ES細胞)の樹立のためにも使用できる。

2. 精子・卵子・受精卵の取り扱いに関する条件

3. 研究後の処理

4. 精子・卵子・受精卵の取り扱い者

5. 研究の登録報告等

ヒト胚および卵の凍結保存と移植に関する見解 (1988 年会告)

2. 本法の実施に当たっては、被実施者夫婦に、本法の内容、予想される成績、目的を達した後の残りの胚または卵および許容された保存期間を過ぎたものの取り扱い等について事前に十分説明し、了解を得た上で承諾書等を作成し、それを当該医療機関に保管する。

3. 胚の凍結保存期間は、被実施者夫婦の婚姻の継続期間であって且つ卵を採取した母体の生殖年齢を超えないこととする。卵の凍結保存期間も当該婦人の生殖年齢を超えないものとする。凍結融解後の胚および卵は、卵を採取した母体に移植するが、その都度被実施者夫婦の承諾書を取り、保管するものとする。

Triple colour fluorescent in-situ hybridization (FISH) analysis of 147 arrested or abnormally developing embryos.

Normal	Abnormal non-mosaic	Diploid mosaic	Abnormal mosaic	Polyploid
57	8	24	18	40

Total mosaic= 29% :total abnormal= 61%

Munné et al.(1994)

Embryo morphology and chromosomal status.

Grade	Normal	Diploid mosaic	Abnormal	Abnormal mosaic	Chaotic	Total
I	11	3			2	16
II	22	12	2	4	12	52
III	12	3			10	25
Total	45	18	2	4	24	93

Delhanty et al.(1997)

細胞質移植の臨床成績

患者数	25	臨床妊娠数	13
周期数	28	流産数	1
受精胚数(%)	237/325(73)	出産/継続妊娠数	12
移植胚数	98	単胎	10
着床胚数(%)	17/98(17)	双胎	1
臨床妊娠数(%)	13(46)	要胎	1

Cohen et al (2000)

(注) 受精率 = 2前核卵数 / 細胞質移植ICSI卵数
着床率 = 胎児心拍陽性胚数 / 移植胚数
臨床妊娠率 = 胎児心拍陽性妊娠数 / 周期数